

知れば知るほど見えてくる。
もの知り“ウググラ博士”のちょっとしたおせっかい。

太陽が育てた

「木」という逸材!

底知れないその実力!



皆さんが「木の家に住みたい!」と憧れる理由は天然の素材が持つイメージの良さからきているようですが、実はその性能にも目を見張るものがあるのをご存じですか? まだまだ知られていない「木」の実力をご紹介します。

今日は自転車で久しぶりに遠出したなあ。この公園は緑が多くて気持ちいいんだよね。

ほっほー! そうでしょう。ここにはいろいろな種類の木がありますからね。

え?! 木の上から声がする! そこにいるのは誰?

私は「ウググラ」博士。なぜ、緑の多い公園は気持ちがいいのだと思いますか?

だって、木があれば木のぼりができるし…夏だったらセミやカブトムシもいたでしょう? ここには秋に実がなる木もあるんだよ。木の下で休むと、風が気持ちいいしね!

確かに。緑あふれる公園には、たくさん魅力がありますよね。でもそれは、祖先から受け継いだDNAに理由があるのかもしれないよ。太古の昔、人々は森の中で暮らしていたのです。今でもこの木の香りや肌ざわり、木そのものの存在がなぜか人を癒すのは、木とともに生き、その恩恵を受けてきた人々の記憶が残っているからかもしれないですね。もちろん人だけでなく、森には今でもたくさんの生き物たちが暮らしています。私も木に住んでいるんですよ。

へー! かつこいい!! トム・ソーヤみたいだね。

そんなふうに褒めていただくと、照れてしまいます(笑)。でも、あなたがたにも、「木」の家があるじゃないですか。最近では日本でも家を建てる方の7割近くが、「木

の家がいい」とおっしゃっているようですよ。自然が作り出す木は、他の人工的な素材には決してまねのできない優れた性能を持っていますからね。

でも木は、この間キャンプファイヤーで燃やしたよ。大丈夫なの?

ほっほっほ! ご安心ください。木は確かに「燃える」素材ですが、実はとても「燃えにくい」素材でもあるのです。木は表面が焼けて真っ黒に「炭化」すると、酸素を通しにくくして、それ以上内側まで燃え進まないようにする性質があるんですよ。

まるで、木が自分を守っているみたいだね。

そうですね。実験では、1分間に0.6~0.8mmほどしか燃え進まないというデータも出ています。10分経っても1cmには届きません。家を建てるのに使う太い木材は、非常に燃えにくいと言えますね。木は、もし燃えても有害な煙が出にくいのも特長です。さらに、「断熱効果」もあります。木のお椀は、熱々のお味噌汁を入れても手持持つことができると、口をつけても熱くないでしょう? あれは断熱効果のお陰なのです。

それなら木の家も、夏は涼しく、冬も暖かく過ごせそうですね。

ところで、木は何でできているかご存じですか?

聞いたことがあるよ。確か、デンプンが木の幹になるんじゃないのかなったかな。

そうですね。デンプンの親戚のようなものですね。詳しく言うと、「セルロース」「ヘミセルロース」「リグニン」という3つの成分がさること、木は「天然の鉄筋コンクリート」だと言われるほどの強い素材となっているのですよ。セルロースが鉄筋の役目を、体を支えながら木を腐りにくくしているリグニンは、コンクリートの役目を果たします。ヘミセルロースはそれらを一体化させる役目です。

それであんなに高い木も、折れずに立っていられるんだね。

しかも木は、水と空気を吸って太陽の光を浴びるだけで、デンプンを作り出し、自分の体を成長させているのですよ。その上酸素まで作り出して、我々に提供してくれているのです。こうしておいしい空気が吸えるのは、木のお陰なのです。

日向ぼっこをして水と空気を吸うだけで、木はそんなにすごいことをしているんだね。

水と空気、太陽の光だけですくすくと育った木が家となり、今もこうして私たちの暮らしを支えてくれているなんて、素晴らしいことだと思いませんか。

本当だね。僕も、そんな木の家に住みたいな!

前回に続き、また新たな「木」の魅力を教えてくれたウググラ博士。木には、人工的に作られたものには決してまねのできない力が宿っています。スウェーデンハウスが使っているのは、北欧の厳しい寒さの中でたくましく育った木。年輪の幅が狭く、目がつまつきめ細やかな材質が特長です。木はまさに、居心地の良い家を支える影の立役者。私たちにとっても、かけがえのない太陽の恵みです。